

2025年度 宇都宮大学多文化公共圏フォーラム第3回

宇都宮大学地域経営研究会地域CN部会第7回 / 公開授業「多文化公共圏実践演習グローバルB」

「気候危機と地域からのエネルギーシフト： 既存住宅への太陽光発電普及の課題と可能性」

■ 目的

気候危機やエネルギー価格の高騰、国際情勢の不安定化が進む今、地域からのエネルギーシフトがますます重要です。宇都宮市の取り組みやドイツ・欧州の事例を学びながら、学生、自治体、市民、NPO、企業の皆さんと一緒に、戸建住宅への太陽光発電導入を中心に、地域のエネルギー転換の可能性を一緒に考えてみませんか？



■ 開催概要

日時：2025年5月29日（木）8:30-10:10

会場：宇都宮大学 峰キャンパス UUプラザ（正門横） + ZOOM（ハイブリッド開催）

対象：学生、教職員、自治体職員、市民、研究者、関係団体等

定員：会場 50名 / オンライン 20名程度（いずれも**事前申込要**）

申込URLはこちら↓ 申込QRコードはこちら→

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdTaSSe9ojjK8wtSKzQ41pPFfUIEjzlpS-mBVRpSt-BjuARqA/viewform>



■ スケジュール

開会挨拶 吉澤史昭 宇都宮大学理事（戦略企画・社会共創担当・副学長）

趣旨説明 高橋若菜 宇都宮大学国際学部教授 / 多文化公共圏センター長

講演① 宇都宮市における脱炭素の取組と展望

杉浦篤史 宇都宮市環境創造課カーボンニュートラル推進室室長

講演② ドイツ・欧州のエネルギーシフトの経験から Lars Strupeit 博士 / 高橋教授通訳

ワークショップ：「戸建ての太陽光パネル導入をどう広げるか？」参加型グループワーク

コメント・共有 モデレーターによるまとめ

■ 挨拶・講演者等紹介

吉澤史昭 宇都宮大学理事（戦略企画・社会共創担当・副学長）



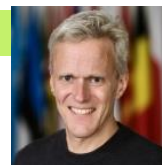
杉浦 篤史 宇都宮市環境創造課カーボンニュートラル推進室室長

2021年より環境部環境政策課（現：環境創造課）課長補佐として、再生可能エネルギーの地産地消を推進する地域新電力会社「宇都宮ライトパワー株式会社」の設立や脱炭素先行地域づくり事業に携わり、2023年より現職。



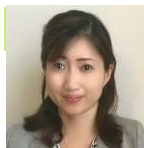
Lars Strupeit 博士（産業環境経済学）

ドイツで電気工学を修学、実務経験を経て、スウェーデン Lund 大学にて再エネ、エネルギー効率化、循環型経済を主軸に、技術転換と地域主導のエネルギー移行を研究。再エネ事業、国際協力実務経験多数。2025年4-5月、宇都宮大学国際学部にて外国人研究者。



高橋 若菜 教授（政治学博士）

宇都宮大学国際学部教授。多文化公共圏センター長、地域経営研究会地域CN部会主査。環境政治学を専門とし、地球環境戦略研究機関を経て2003年より現職。日本とスウェーデンを中心に、地域からの脱炭素・循環型社会形成の政策ガバナンスを研究。2023年国際共同研究で、NIKEI脱炭素アワード研究部門受賞。



主催：宇都宮大学 多文化公共圏センター（UU3Sプロジェクト） / 地域経営研究会

共催：宇都宮市

後援：NPO法人 うつのみや環境行動フォーラム、一般社団法人 Forward to 1985 Energy life

NPO法人エコロジーオンライン、エフエム栃木Radioberry

問合せ：宇都宮大学多文化公共圏センター 028-649-5174(平日9-16時)

地域経営研究会事務局 rmw-uu@a.utsunomiya-u.ac.jp